P606

黄だん
↳ビリルビン

P 603 まん中

止血（しけつ）

- 血液が血管の外にどんどん流れてしまうと、ヒトは死んでしまう。そのため、血管の壁、特に血管の一番内側の一層の細胞、内皮細胞が傷つくと血小板と血液凝固因子の線維素（フィブリン）が協力して、出血を止める血栓を作って、ふたをする。
- 動脈硬化があると、血管がつまってしまうような病的な血栓ができることがあり、脳梗塞や心筋梗塞の原因となる。

血栓形成の3大要因
（ウィルヒョウの三主徴 Virchow's triad）

P609
急性白血病

P611

一般名 ⇒ 患者がどのくすりをつかったか
かくときなど。

商品名 ⇒ 会社によってちがう。

・ビタミンAのみ薬で
なおる人も

・白血病はどんが病気が

血流の鬱滞（うったい）

先天性（日本では稀）
- 鎌状赤血球症
- Kasabach-Merritt症候群（広範な血管腫形成）

後天性
- 長期臥床や不動
- ロングフライト症候群（エコノミークラス症候群）
- 肥満
- 妊娠、骨盤内腫瘍
- 静脈瘤
- 心不全

動脈血栓と静脈血栓

- 動脈血栓は血小板主体の白色血栓。
- 静脈血栓は血液凝固因子の反応でできたフィブリン主体で赤血球も多く紛れ込んだ赤色血栓。

P613

骨髄できそこない症候群
‖
（前白血病状態）

芽球が30%をこえると白血病に。

・心房細動
→左房内に血
↓できやすい。
脳梗塞に

抗血栓療法

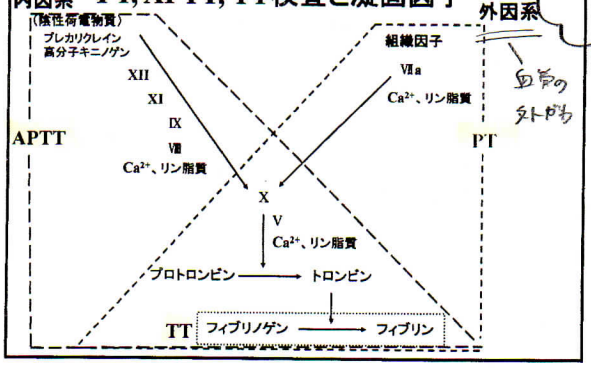
血をサラサラさせるくすり

動脈血栓を予防 ← 抗血小板療法（アスピリン81 mg/日など）
アテローム性動脈硬化疾患（心筋梗塞、脳梗塞、閉塞性動脈硬化症など）の動脈血栓症予防

静脈血栓を予防 ← 抗凝固療法（ワーファリン、ヘパリン、抗Xa薬、抗トロンビン薬など）
深部静脈血栓症、肺梗塞、心房細動、人工弁置換例などの血栓・塞栓症予防

血栓溶解療法（t-PAなど）
急性心筋梗塞発症早期（6時間以内）の冠動脈内血栓溶解、急性肺動脈血栓の血栓溶解、脳梗塞発症6時間以内の脳動脈内血栓溶解
↓
4.5h

PT, APTT, TT検査と凝固因子



APTT, TT, PT
↓
凝固のけんさ

Q617
チョップ療法。

副腎～
↓
悪いリンパ球を
やっつけてくれる。

～ハイドロクロライド。

抗体せいざい
B-リンパ球に
くっつく

P618, 619 骨髄異しゅ。
パンチアウトリュージョン

アルブミン
骨の中を見なくては
よくわからない。